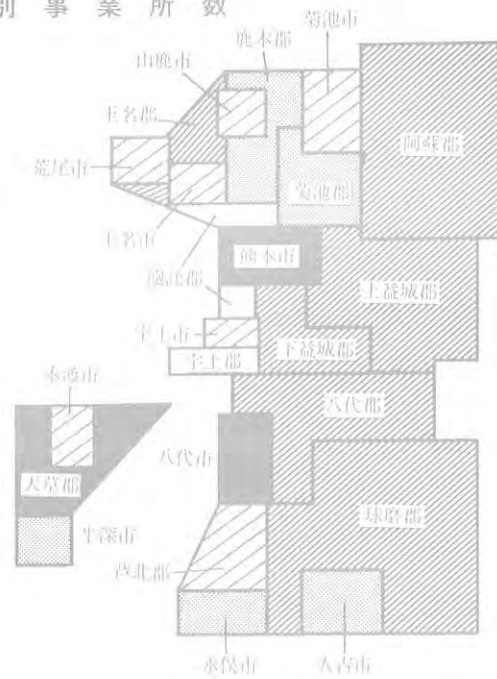
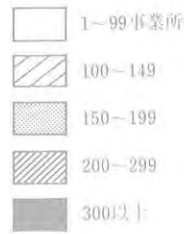
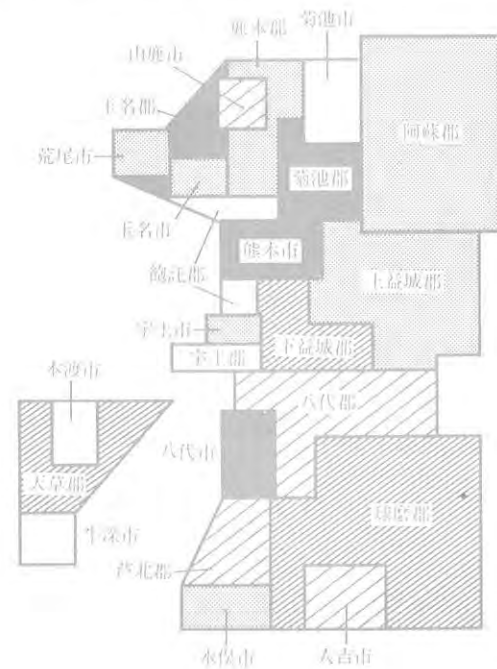
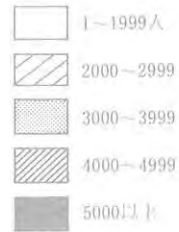


# 眼で見る県政

市郡別事業所数



市郡別従業者数



9.14—県下で55年度中に百歳になる人は、男性7人、女性17人の計24人です。敬老の日を前に、沢田知事は市内画図町の出田百喜さん宅を訪問し、長寿を祝った。



10.1—赤い羽根共同募金運動がスタートした。厚生大臣メッセージ伝達式が下通りアーケード街で行われた後、沢田知事をはじめ関係者が通行人や買物客に愛の募金を呼びかけた。



10.1—県民に県の施設や重要事業現場等を紹介し、県政に対する理解と認識を深めることにより県民参加の県政推進を図る「動く県政教室」施設公聴が行われた。第10回目の今年は、25台のバスで約延べ1,000人が施設を見学した。



10.17—県総合防災訓練が玉名郡長洲町名石浜埋め立て地で行われ、関係防災機関、地元住民等1,500人が参加した。これは大災害発生の際、各防災機関が応急対策でスムーズな協力活動ができるよう訓練したものの。

県政トピックス ★ 県政トピックス ★ 県政トピックス



8.22—秋の交通安全県民のつどいが、菊池市文化会館で開かれ、老人、婦人を中心に約800人が参加し、安全意識の高揚をはかり、交通事故をなくそうと誓い合った。



8.26—母親の手によるキャラバン隊を派遣し、交通安全キャンペーンを展開している全国交通安全母の会連合会の一行が県庁を訪れ、沢田知事、熊本市交通安全母の会の人たちなど400人の出迎えをうけた。



8.28—南九州四県の浮揚と発展を合言葉に、熊本、大分、宮崎、鹿児島、四県の知事、議長会議が人吉市に於いて開催され、観光、交通、ローカルエネルギー対策等に活発な意見の交換が行われた。



8.30—29日夜から30日未明にかけて襲った集中豪雨は、熊本市の坪井川流域を中心に玉名、菊池、鹿本、阿蘇の県北・中部地方に大きなツメ跡を残し、死傷者19名、被害総額283億円となった。